

# 平成29年度 小池小学校経営計画

大田区立小池小学校

校長 五十嵐 則也

## 1. 目指す学校像

### 【教育目標】

・知恵があり ・人の心を思いやり ・心身ともにたくましい子

○学力・心・身体がバランスよく成長している健康な子どもが育つ学校

(1) 子ども達が基礎・基本の学力と、自分の考えをもち表現できる力をつけることができる学校 [知恵があり]

(2) 子ども達があたたかい人間関係を築き、心身ともに安心して生活することができる学校 [人の心を思いやり]

(3) 子ども達が基本的な生活習慣を身に付け、健康で生き生きと生活できる学校 [心身ともにたくましい子]

## 2. 本校の現状と課題

### 【現状】

- ・基礎・基本の学力の定着が必要な子どもと、発展型の学習が可能な子供の差が大きい。
- ・学区は「地域力」のある地区であり、地域の学校としての期待が大きい。

### 【課題】

- ・児童の基礎・基本の学力と思考力・表現力の向上
- ・家庭・地域と連携した教育の推進

## 3. 学校経営目標（重点目標の設定）と方策

### (1) 中期的目標と方策

#### 【学習について】

#### ① 学力の向上

○授業改善推進プラン達成のために、教員の資質・能力を高め授業力の向上を図り、児童に論理的思考力と表現力（根拠を明確にして自分の考えを述べる力と考えを伝え合う力）を育成する。

○少人数グループでの指導・補習教室等の実施により、児童に基礎的・基本的な学力の向上を図る。

#### ② かかわる力（コミュニケーション力）の育成

学習での思考力と表現力（根拠を明確にして自分の考えを述べる力と考えを伝え合う力）の育成と共に、縦割りの活動・遊びの時間の充実と確保等により、児童に

かかわる力の育成を図る。

【生活・健康について】

① 児童の基本的な生活習慣の確立と体力の向上

健康生活のリズム作りと体力向上のために、身体を動かせる時間の確保等を行い児童の基本的な生活習慣の確立を図る。

② 児童の心と身体の育成

生活指導の充実と一人一人に向き合う教育の推進のために、中学との連携や特別支援教育の推進を行い、児童の心と身体の育成を図る。

【家庭・地域との連携について】

○ 安心・安全な環境づくり

児童を見守る力の拡大や保護者地域および関係諸との連携により、児童を見守り育てる安心・安全な環境づくりの推進を図る。

(2) 今年度の目標と方策

【学習について】

① 学習指導の充実（学力の向上）

○「確かな読みの力を高める指導の工夫～伝え合いを通して～」を研究・研修の内容とし、国語の読むことを中心として授業改善を行う。教員一人一人が日々の授業の質を高め、児童の論理的思考力・表現力（根拠を明確にして自分の考えを述べる力と考えを伝え合う力）の向上に努める。

○全教員が少人数グループでの指導の時間の設定や、学年ごとの統一した宿題を課すことにより、基礎・基本の学力の向上や学習態度の定着に努める。

○算数については、担任＋加配教員による少人数指導・習熟度別指導・ステップ学習、放課後や昼休み、土曜日（年6回）、全教員と学習指導講師による補習教室により「算数の基礎的・基本的な内容の確実な定着」に努める。

② かかわる力の育成（コミュニケーション力の育成）

○「あいさつと返事」を意思表示・意思伝達の基盤として、各教科の学習等で論理的思考力と表現力（根拠を明確にして自分の考えを述べる力と考えを伝え合う力）の育成に努める。

○縦割り班活動を実施し、異学年のかかわりの日常化に努める。

○中休み、昼休み、放課後遊び、放課後校庭開放での遊びを通した人間関係づくりを行う。

③ オリンピック・パラリンピック教育の推進

オリンピック・パラリンピック教育の趣旨を踏まえ、体育、国際理解教育、道徳教育、人権教育等に関連させ、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会までの長期的な展望に立ち、計画を立案し推進する。

### 【生活・健康について】

#### ① 児童の基本的な生活習慣の確立と体力向上

- 「早寝・早起き・朝ごはん月間」では、生活習慣のチェックや保護者アンケートを通して、基本的な生活習慣の定着と児童・保護者の意識の定着に努める。
- 体育朝会等での持久走や縄跳び、新たな運動や遊びを推奨し、児童の体力向上への充実に努める。(1校1取り組み、1学級1実践)

#### ② 児童の心と身体の育成

- 全教員での児童理解を図るため、スクールカウンセラーと連携しながら、いじめ、不登校の未然防止・解消に努める。
- 特別支援教育コーディネーターを中心に、スクールカウンセラー、関係諸機関との連携を図り、全教職員による支援体制を作り特別支援教育の充実に努める。
- 「メンタルヘルスチェック」や「あなたの気持ち教えてね」の調査を年2回ずつ実施し、必要に応じて面談を行い、児童一人一人の状況を把握し適切な指導・支援に努める。

### 【家庭・地域との連携について】

#### ◎ 安心・安全な環境づくり

- 防犯ブザー携帯の徹底、「大田区安全安心メール」の活用を図ると共に、登下校の安全のために、地域・保護者の協力を得て児童の見守りの体制づくりに努める。
- 「小池小学校地区連絡協議会」・「スクールサポートこいけ」を始めとした、保護者・地域および関連諸機関との連携により地域の教育力を活用し、児童の健全育成に努める。

### 【教職員の働く環境づくりについて】

#### ◎ ライフ・ワーク・バランスの推進

- 育児や介護と仕事の両立を支援し合える職場をつくる。(育児・介護支援制度の活用)
- 仕事と仕事以外の時間も大切にできる職場をつくる。

※教職員がいきいきと働ける環境をつくることで、教育活動の一層の充実に努める。